

楷

第七十七号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

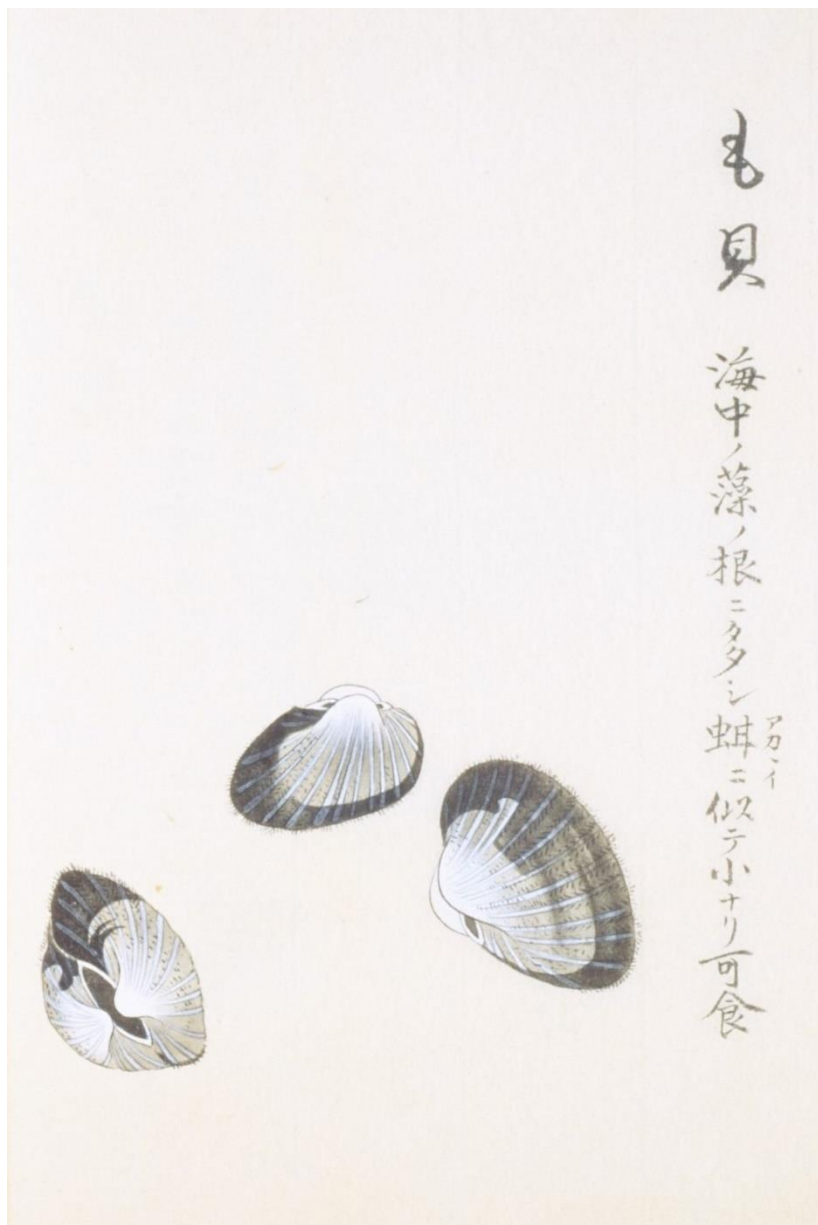
KAI
No.77

2023
OCTOBER

<写真>

も貝

海中ノ藻ノ根ニ多シ蚌ニ
似テ小ナリ可食



「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

— 目 次 —

- 植物科学とサイエンスコミュニケーション
(資源植物科学研究所分館長 武田真) …… p.2
- マスカット …… p.6
池田家文庫絵図展のお知らせ、知好楽セミナー報告、岡山大学公開講座実施
報告、池田家文庫子ども向け岡山後樂園発見ワークショップ実施報告 ほか
- 会議・研修・編集委員から …… p.16

植物科学とサイエンスコミュニケーション

武田 真

はじめに

附属図書館 資源植物科学研究所分館は倉敷市の岡山大学資源植物科学研究所(以下、植物研と略称します。)の中にあります。ここは通常の図書館としての役割のほか、「史料館」の別名が示すように、国内外の植物学や農学の歴史的な書籍類(貴重資料とよびます。)を収蔵しています。植物研の前身は今から109年前に倉敷の実業家『大原孫三郎』氏の援助で設立された民間の大原奨農会農業研究所です。創設当時、海外から先端の書籍類が同氏の手厚い財政支援により蒐集され貴重資料となりました。戦後、貴重資料は研究所とともに岡山大学に移管され、紆余曲折を経て現在に至っています。

朝ドラに植物学者が

今年(2023)は植物が注目された年と思います。4月から半年間、天真爛漫な「牧野富太郎」博士(1862-1957)をモデルとする朝のテレビドラマが放映されました。‘らんまん’に咲き誇る花々が紹介されました。牧野博士は「植物の精霊」と自認していました。野山の植物を収集し、区別し命名し、仲間とともに研究発表の場として学会誌(植物研究雑誌)を創刊し、日本の植物分類学の近代化に大きく貢献しました。さらに植物の特性を解説文章のみならず、緻密な植物画を自らの手で描いて解説しました。一連の成果は牧野日本植物図鑑として発刊され、大きな功績としてたたえられています。破天荒ともいえる牧野博士は、江戸-明治-大正-昭和という4つの激動の時代を駆け抜け94歳の生涯を全うしました。

稀代の植物学者の図書館論

牧野博士は図書館について独自の見解を持っていたようです。“図書館へは行こうと思いませんし、また行ったのはこれまで一度か二度くらいのもので。もともと本が好きなので、必要な本は置かぬといかぬ”(=置かないといけない)、と語ったそうです。裕福な家に生まれケチケチしては自分の信じて進む植物学の道で大成しないとの教えを受けて育ちました。研究に必要な書籍は非常に高価な洋書でも全て購入して手元に置きすぐに参照できるようにしていました。蔵書数は約4万5千点にのぼったといわれています。全ての本の置き場所を記憶していたそうです。牧野博士は、図書館に通う時間を惜しんで、いわゆる”個人図書館“を自費で創り効率的に使い倒すことで、植物分類学に邁進したのでしょう。しかし、本好きの代償は極めて大きく、膨大な経済支援を受けていた実家の造り酒屋を廃業に追い込む一因となったばかりか、自身も多額の借金を背負いました。生活の困窮がひどいときには、“頭の中が混乱して、じっと本を読んででもいられなかった”とも書き残しています。天賦の才に恵まれ大きな成果をあげた牧野博士にとって、植物学研究を遂行するための書籍費を捻出するのは負担が大きかったのは間違いありません。牧野博士の蔵書は現在、郷里の高知県立牧野植物園にまとまって保存されています。江戸時代の本草学を中心とする日本の文献、さらにリンネの分類学図鑑全巻を含む西洋の文献の両方を手元に置いて読み込んだそうです。日本と海外の知見を広く比較することで、日本人研究者の手で我が国の新種(しんしゅ)

の植物を特定できるまでに学術水準を高めたのは牧野博士の功績です。その結果、自身の生涯で1,000種類を超える植物を命名し、植物分類学に大きな足跡を残しました。

植物研分館(史料館)の「貴重資料」

現代の大学附属図書館は、これまでに蓄積した図書や雑誌を保存する傍ら、蔵書を見直し除籍して冊数を減らす一方で新規に書籍や雑誌等を購入して新陳代謝しつつ、最新の学術情報を利用者に提供することが主な役割で、そのために多額の予算を費やしています。他に、学生に静かな自習スペースの提供や、情報検索データベースの講習会の開催などの役割も担います。さて、最近では、紙印刷される学術雑誌が次々と姿を消し、電子ジャーナル・データベースが学術情報の主流となりました。図書館に足を運ぶことは激減しました。学術論文が紙印刷されなくなっているため、図書館の雑誌の収蔵棚はある時点以降増えません。電子ジャーナルのタイトルは増加の一途をたどっており、購読料は値上がりが続いています。これから先、最新の論文情報が継続して購読できるか危うい状況です。電子ジャーナルは購読を停止すると、たちまち最新号が閲覧できなくなります。ところが、冊子体として購入済みの学術雑誌は、内容は変わらず紙実体として存在し閲覧可能なため、継続して保存する必要があります。植物研分館は農学系の冊子体雑誌が充実しています。

冒頭で紹介した、植物研分館の特徴である「貴重資料」の中で『農学系特殊コレクション』としてまとめたものが3種類あります。すなわち、ペッファー文庫(ドイツの植物生理学者で元ライプチヒ大学教授 W. Pfeffer (1845-1920)の蔵書全11,730冊からなる。)、大原漢籍文庫(1923年中国で蒐集した明、清時代の漢籍コレクションで、全4,720冊からなる。)および大原農書文庫(1921~1924年に蒐集された、漢籍を含む我が国の本草書と明治期にかけての養蚕や園芸も網羅する農書で、全2,576冊からなる。)です。分館のホームページ(<https://www.lib.okayama-u.ac.jp/collections/ipsrcollections.html>)から資料目録の検索や利用可能なサービスがご覧頂けます。

植物研分館では、貴重資料を温度湿度や防虫に特別に配慮して専用の部屋で保存しています。貴重資料の現物は、教育、学術または文化に資することを目的とする場合に限り閲覧できます。(1)閲覧には予約と目的資料の申請をお願いしています。対象の資料が閲覧可能な保存状態にあるかを事前確認するためです。(2)持ち出しや貸し出しはできず、専用の閲覧用スペースで読む必要があります。筆記具は鉛筆のみ使用できます。(3)コピー機での複写はできませんが、代わりにデジタルカメラ(フラッシュの使用はできません。)を持参しての自己撮影はできます。ただし、出版物・発表資料・Web サイト等への掲載、放送番組での使用は可能です。また、博物館等での展示用に限って、現物の貸付ができます。なお、貴重資料から抜粋したカラーの植物画8点(HPに掲載しています。)の絵はがきが岡山大学出版会から一組315円(税込)で購入できます。

最近の貴重資料の閲覧利用は低迷しています。利用上の制約が厳し過ぎるためか、古書による植物学・農学の研究が流行から外れる、などの理由が考えられます。一般の来訪者用に、史料館1階に代表的な貴重資料が展示されており、手続きなしで概要を短時間で知ることができます。

今後は、貴重資料にどのような学術的価値があるのかを、現代の科学知見の光をあてて見直す時期にきていると思われます。“鑑定”には農学や植物学をはじめ古文書に精通した幅広い分野の専門家の助けが必要です。「古きをたずねて、新しきを知る、」ことが植物研分館の貴重資料に該当し、これまで眠っていた「お宝」が発掘されることを期待しています。研究所を創設した「大原家」は、貴重資料は研究所の所員だけのためだけでなく、所外にも広く利用されることを切望して、その蒐集に多大な経済的支援を行ったとの記述が残っています。貴重資料を死蔵することなく、興味のある

る方に現在よりも使いやすく開放し、学内外の利用を活性化することが大切と思います。貴重資料のなかには経年劣化等の理由で、ページを開くと紙がバラバラになる恐れがあるものや、活字の判読が困難なものもあるようなので、早急な対応が望まれます。

サイエンスコミュニケーション

“サイエンスコミュニケーション”という言葉をご存知でしょうか？研究者が論文などで発表した研究成果などを、一般の方々にわかりやすく、そして正確に伝えることをいいます。日々の教育研究に追われる研究者にかわって、最近では、サイエンスコミュニケーターという専門家が登場し、出前で科学実験を行う、または、科学実験の映像をネットにアップして、解説を加えて科学の面白さを一般の方々に伝える活動が盛んになっているようです。さて、上記の牧野博士は愛好家と野に出かけ植物収集をする交流に後半生では力を入れていました。これも、草花を介した手作りのサイエンスコミュニケーションの先駆けであったとおもいます。植物研には年1回オオムギの穂が出揃う5月中旬に研究所を公開する日があり、多くの方がお見えになります。同じ頃、農学部の新入生が見学に訪れます。各所員が工夫を凝らして、研究の面白さや苦勞を伝える試みをしています。貴重資料も同じ機会にアピールしています。

私は、オオムギ(大麦)の種子や植物体の多様性を決める遺伝子の研究をしています。例えば、オオムギの穂は色とりどりです(図)。数年前、オオムギの穂が白い変わり物(突然変異体)の遺伝子を論文発表し、記者発表(プレスリリース)をしました。後日、掲載された新聞記事は、専門用語を使うことなく読者に伝わる文章に記者の力で変わっていました。自身の授業で教材とさせて頂いています。



オオムギの穂の色は、通常の緑色の他、白、紫、オレンジ、および黒と多様です

おわりに

本稿は、今年脚光を浴びた、植物学者「牧野富太郎」博士の図書館に関する興味深い考えに偶然触れ、感銘を受けて書き始めました。また、倉敷の植物研分館にはあまり知られていない歴史的な貴重資料が保存されていること、近年一般の方々と研究者をつなぐサイエンスコミュニケーションが特に自然科学の分野で重要となっていることを紹介しました。これからも附属図書館には大学と社会をつなぐ知の架け橋であり続けてほしいと考えます。

(たけた・しん 資源植物科学研究所分館長)

マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、岡山大学附属図書館が収蔵する、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約10万点にもものぼるコレクションです。平成17年3月に岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定が結ばれ、それを機に「池田家文庫絵図展」として、毎年テーマに沿った資料を岡山シティミュージアムに展示してきました。令和元年からは林原美術館の収蔵品も加わり、備前岡山藩の歴史遺産が一堂に会する貴重な機会となっています。今回は、岡山藩領の郡・村の景観と人々の暮らしに焦点を当て、郡絵図・村絵図や地域での行政に関わる文書など、岡山藩領の地域社会と藩政の関わりを示す興味深い資料を数多く展示します。

1. 名称：企画展 池田家文庫絵図展「岡山藩の郡・村と藩政」
2. 会期：2023年10月7日（土）～11月5日（日）（休館日を除く26日間）
[休館日] 10月10日（火）、10月16日（月）、10月23日（月）、10月30日（月）
[開館時間] 10:00～18:00（入場は17:30まで）
3. 会場：岡山シティミュージアム 5階 展示室
〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1
4. 入館料：一般310円 65歳以上、大学生以下無料
65歳以上の方は年齢を確認できるもの、学生の方は学生証を提示してください
5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム
共催：林原美術館
6. [オープニングトーク]

日時：2023年10月7日（土）10:10～10:40

会場：岡山シティミュージアム5階展示室

講師：岡山大学学術研究院社会文化科学学域 講師 東野将伸氏

[講演会] ※予約申込制

日時：2023年10月28日（土）14:00～16:00

講師：京都府立大学 文学部歴史学科 教授 東昇氏

演題：近世の地域社会と藩政 ―宗門改と人の把握―

詳細は決定次第、岡山シティミュージアムホームページでお知らせします。

※講演会は10月6日10:00から岡山シティミュージアムにて電話先着順で予約を受付します。

7. 主な展示資料：

〔上東郡図〕、〔備前国図〕、備中六条院西村絵図、備中国阿賀崎村周辺絵図、児島八景画卷（長谷川常雄筆）など



知好楽セミナー報告

「知好楽セミナー」とは、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした中央図書館の独自企画です。各界から多彩な講師をお招きし、ご好評をいただいています。

・第30回「カラー写真でみる1952年の岡山の街・人びとーJ. ホールのいたミシガン大学日本研究所岡山分室の遺産ー」



日時：2023年6月15日（木）14:30～16:00

話題提供者：長志珠絵氏（神戸大学・教授）

福島幸宏氏（慶応義塾大学・准教授）

衣川太一氏（神戸映画資料館・研究員）

司会：今津勝紀氏（岡山大学文明動態学研究所・副所長）

場所：中央図書館 本館 1F OG Wellness SALON（ラーニングコモンズ）

参加者：48名

ミシガン大学日本研究所岡山分室に在籍していた日本学研究者 J.W.ホールが撮影したカラーライドを紹介しながら、占領期の岡山の様子を解説していただきました。撮影場所が判明していない写真が紹介された際には、参加者から「ここはあの場所ではないか」等の声上がるなど、双方向型の講演となりました。

参加者からは、「約70年前の写真がきれいで楽しめた」「色が入ってることで身近に感じる事ができた」などの感想をいただきました。

2023 年度岡山大学公開講座実施報告

演題：岡山城展示改修と池田家文庫絵図

日時：2023 年 8 月 30 日（水）14：00～16：00

場所：中央図書館本館 3 階セミナー室およびオンライン

講師：小野田 伸氏（岡山シティミュージアム館長・岡山城学芸員）

参加者：49 名

岡山城改修に伴う天守内の展示改修について、コンセプトや見せ方（魅せ方）、何を伝えるかといった目的などを踏まえ、展示に使用した池田家文庫絵図や、実際の天守内の写真を見ながら、展示のポイントや、絵図との違い、また実際に携わったからこそ知りえる岡山城の魅力など、質疑応答を含めて語っていただきました。また、会場近くのロビーには天守内の展示で使用した資料パネルの展示も行いました。当日は会場 30 名、オンライン 19 名の計 49 名の方に参加いただき、「岡山城、歴代城主について、より深く知れた」「岡山城に行ってみたいと思いました」「池田家文庫絵図の話がおもしろく学習できた」などの声をいただき、盛会のうちに終了しました。



「池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」実施報告

岡山後楽園にて附属図書館と教育学部の共催で「池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を開催しました。

参加者は、教育学部学生による紙芝居で後楽園の歴史を勉強した後、附属図書館所蔵の巨大絵図（複製）のうえを歩いたり、グループに分かれて縮小絵図（複製）を手に、自分たちで決めたルートで園内を回ったりして、絵図に描かれた昔の後楽園と現在の後楽園の違いを発見しました。最後にグループごとにそれぞれの発見を発表し、みんなで共有しました。

2022年度（冬）

開催日：2023年3月12日（日）

参加者：38名（小学生20名、同行者18名）



2023年度（夏）

開催日：2023年7月16日（日）

参加者：44名（小中学生22名、同行者22名）



学生・館長懇談会報告

中央図書館では、2023年2月14日（火）に、文学部、理学部、工学部、社会文化科学研究科、ヘルスシステム統合科学研究科の学生計11名の参加を得て、学生・館長懇談会を開催しました。この懇談会は、よりよいサービスの提供を目指して、学生から図書館利用についての意見や要望を直接お聞きするために実施するものです。この度の懇談会では学生から、開館時間・開館日数などについてさまざまな意見や要望をいただきました。附属図書館では、これら学生からの貴重な意見をもとに、サービス改善に取り組んでいきます。

オープンキャンパス報告

中央図書館は2023年8月5日（土）、6日（日）、8日（火）～10日（木）の5日間、鹿田分館は8月5日、6日の2日間、オープンキャンパスでにぎわいました。会場では、大学の授業で使用する教科書の展示などを行いました。ご来館いただいた高校生、保護者の方は、中央図書館で1,000名、鹿田分館で201名に達しました。

図書館館内展示報告

○中央図書館

- ・企画展「岡山大学所蔵池田家文庫より国絵図の世界」

中央図書館本館 2F ムラタアカデミアにて、企画展「岡山大学所蔵池田家文庫より国絵図の世界」を開催しています。

岡山大学附属図書館の所蔵している池田家文庫から、様々な国絵図（複製・パネル）と国絵図に関連した過去の池田家文庫絵図展図録、彩色に関する資料などを展示しました。

展示期間：2023年8月2日（水）～

展示場所：本館 2F ムラタアカデミア



- ・展示「池田家と大坂の陣」

展示期間：2023年3月17日（金）～8月2日（水）

展示場所：本館 2F ムラタアカデミア



- ・知好楽セミナー関連展示「カラー写真でみる1952年の岡山の街・人びとーJ.ホールのいたミシガン大学日本研究所岡山分室の遺産ー」

展示期間：2023年6月2日（金）～8月23日（水）

展示場所：本館 1F OGWellnessSalon



- ・新入生向け展示

「岡山大学附属図書館 鹿田分館と資源植物科学研究所分館」

展示期間：2023年6月21日（水）～

展示場所：本館 1F ロビー



- ・中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館 1F ロビーの展示スペースで、当館資料を紹介する「ミニ展示」を実施しています。ぜひご覧ください。2023年3～9月は以下のテーマで展示しました。

- 3月 建築特集
- 4月 新学期応援おすすめ本
- 5月 レポート・論文の書き方
- 6・7月 岡山を再発見！
- 8月 洋書にチャレンジ
- 9月 人工知能特集



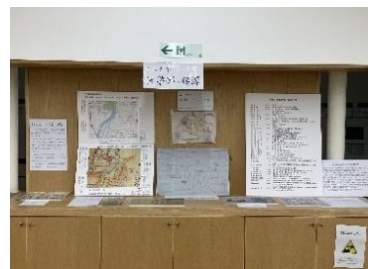
○鹿田分館

・「岡山大学医学部の起源」

岡大医学部の源流と言える、明治期の岡山医学教育についての展示。

展示期間：2023年7月27日（木）～

展示場所：2階閲覧室



・「鹿田分館の美しい本」

鹿田分館が所蔵する美しい図書を展示。

展示期間：2023年8月23日（水）～

展示場所：3階ロビー



○植物研分館

2023年5月13日（土）の資源植物科学研究所一般公開に合わせて、植物研分館は貴重資料等の一般展示「牧野富太郎と植物図鑑」を実施しました。植物研分館所蔵の貴重資料であるペツファー文庫、大原農書文庫、大原漢籍文庫を中心に、書籍38点を展示しました。

また、研究所一般公開ではクイズラリーを開催しており、植物研分館でも展示内容からクイズを出題し、お子さんから大人まで参加者のみなさまに楽しんでいただきました。



西館1階演習室の利用開始について

中央図書館西館1階の旧情報実習室はコロナ対応のため閉室しておりましたが、2023年7月から演習室に名称を変更して利用を再開することになりました。教育用PCが撤去されたため、コンセント付き机を提供する学修施設として再スタートいたします。授業利用の予約がない時間帯は自由に入室して利用ができます。



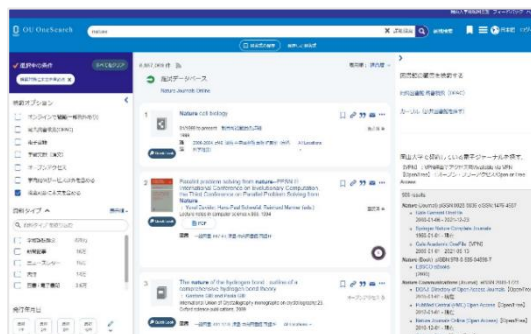
OU OneSearch の本格導入について

2023年1月からプレサービスを開始しておりましたディスカバリーサービス OU OneSearch が、4月1日より本格導入されました。OU OneSearch について、詳しくは図書館 HP をご覧いただければと思います。

1月から2月までおこなっておりましたアンケートにいただきましたご要望について、実現可能なものを検討し適用しました。より使いやすくなったのではないかと思います。また、7月5日には本格導入後はじめての講習会を実施しました。講習会動画を図書館 HP から公開しておりますので、OU OneSearch の使い方をもっと知りたい！と思ったらぜひご活用ください。講習会資料は Moodle 内で学内限定配布しています。「OU OneSearch 講習会」で検索してみてください。

まずはどんなサービスなのか、触れて使っていただくのが一番かと思っておりますので、今まで使ったことがない方も是非一度ご利用ください。今までとは違うアプローチで、思ってもみなかった情報に辿り着ける体験をしていただけることを期待しています。

(随時機能を追加していますので、画面が変わっている可能性があります)



三浦家文書デジタルアーカイブ公開事業について

真庭市教育委員会と本学附属図書館とが連携して平成20年度から平成29年度にかけて「三浦家文書」の高精細画像のデジタル化を進めました。こちらについては、図書館振興財団からの助成を受けて「三浦家文書デジタルギャラリー」(平成31年3月より現「古文書ギャラリー」へ統合)にて104点を平成25年度に公開しています。

この度、令和3年度～令和5年度の3ヶ年計画で、真庭市からの委託を受け、「勝山藩三浦家文書デジタルアーカイブ公開業務」として、高精細デジタル文書の追加公開を実施しています。

令和3年度 (2021年度)

- ①領知状写・御領知目録 16点 (真庭市所蔵)
- ②村絵図 28点 (真庭市所蔵)
- ③その他 45点 (岡山大学附属図書館所蔵) を公開

令和4年度 (2022年度)

- 日録 40点 (岡山大学附属図書館所蔵) を公開

令和5年度 (2023年度)

- 日録 37点 (予定)

* 「日録」(一部「日志」)は、勝山藩の家老戸村家の当主らが代々書き継いだ日記

オリエンテーション・データベース講習会実施報告

○中央図書館

中央図書館では2023年4月～7月にオリエンテーションやラリー、ガイダンスを開催し、延べ739名の方にご参加いただきました。

2023年7月にはZoomなどを使用してオンラインデータベース講習会を開催しました。リアルタイムでは延べ42名の方にご参加いただきました。開催後には岡山大学Moodleを介して記録動画を公開し、2023年9月13日までにオンデマンド配信で延べ164名の方にご覧いただきました。

オリエンテーション、ラリー

実施日	対象	参加人数
4月3日～4月27日	新任教員	6
4月6日～7月21日	新入生	371

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月19日、4月21日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業にて実施)	43
4月25日	レポートの書き方講習会 (教員の依頼により授業にて実施)	129
5月31日、6月7日	レポートの書き方講習会 (教員の依頼により授業にてオンラインで実施)	190

講習会

実施日	データベース	参加人数	視聴者数*
7月5日	OU OneSearch	13	47
7月28日	Web of Science	14	64
7月28日	EndNote Online	15	53

*2023年9月13日までのオンデマンド配信の視聴者数

○鹿田分館

鹿田分館では2023年1月～7月にオリエンテーション等を開催し、延べ292名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月2日、4日	新入生	169

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月18日	文献検索ガイダンス	3
4月26日	文献検索ガイダンス	2

講習会

実施日	講習会名	参加人数
1月26日	医中誌・PubMed 文献検索ガイダンス	1
4月21日	UpToDate	18
5月23日	CINAHL	19
7月13日	医中誌	80

○植物研分館

植物研分館では2023年4月～5月にオリエンテーションを開催し、135名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月5日	環境生命自然科学研究科新入生	7
5月16日	農学部新入生	128

教員からの寄贈図書リスト

次の方から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

梶井一暁 [学術研究院教育学域 (教育学)]

無盡山莊嚴院地藏寺所蔵文献目録 索引 1—2023.1 (BF029/Mu 22)

倉地克直 [名誉教授]

備陽国学記録：資料翻刻 1 (文明動態学 1) —2022.3 (F372.1/B 48)

備陽国学記録：資料翻刻 2 (文明動態学 2) —2022.3 (F372.1/B 48)

中尾知代 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

戦争トラウマ記憶のオーラルヒストリー：第二次大戦連合軍元捕虜とその家族
—日本評論社, 2022.7 (493.743/N 41)

新村容子 [名誉教授]

アヘン戦争前夜—汲古書院, 2023.4 (222.065/N 72)

<鹿田分館>

北別府孝輔 [学術研究院保健学域 看護学]

もっとわかるナースのための急性期 ICU 救急の輸液：輸液、適切に管理できている？
—照林社, 2023.4 (N953/KI)

看護教育のためのオンライン活用エッセンス：授業・研修に使える仕掛け：Web 動画付
—医学書院, 2023.5 (N245/KA)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

隈元みちる編著, 稲月聡子 [学術研究院社会文化科学学域 (文)] 他著

心理アセスメントを生活につなげる協働的フィードバック: ウェクスラー式知能検査を用いた手引き——岡山大学出版会, 2023.3 (140.7/Ku 34)

小川容子 [学術研究院教育学域 (音楽教育)], 松多信尚 [学術研究院教育学域 (社会科教育)], 清田哲男 [学術研究院教育学域 (美術教育)]

教育科学を考える——岡山大学出版会, 2023.3 (371/Ky 4)

岡山大学入門講座 2023 テキスト編集委員会

岡山大学入門講座 2023——岡山大学出版会, 2023.3 (F377.9/O 47)

高岡敦史 [学術研究院教育学域 (保健体育)]

学校組織のナレッジマネジメント: より良い体育授業実践を目指して効果的な教師間コミュニケーションを探る——岡山大学出版会, 2023.4 (375.49/Ta 49)

会議

◆学外

- | | | | |
|--------------------|---------------------------------------|-----------|---|
| 2023.4.20 | 第70回中国四国地区大学図書館協議会総会
(オンライン会議) | 2023.6.21 | 岡山県大学図書館協議会第99回
(令和5年度第1回) 研修委員会
(オンライン会議) |
| 2023.4.21 | 第50回国立大学図書館協会中国四国地区協会
総会 (於: 山口大学) | 2023.6.22 | 第70回国立大学図書館協会総会
~6.23 (於: 一橋大学) |
| 2023.6.12 | 令和5年度岡山県図書館協会総会
(於: 岡山県立図書館) | 2023.9.4 | 岡山県大学図書館協議会第100回
(令和5年度第2回) 研修委員会
(オンライン会議) |
| 2023.6.19
~7.12 | 岡山県大学図書館協議会令和5年度総会
(メール会議) | | |

◆学内

- | | | | |
|--------------------|-----------------------------------|-------------------|---|
| 2023.3.9 | 令和4年度第1回貴重資料委員会
(オンライン会議) | 2023.7.21 | 令和5年度第1回附属図書館運営委員会資源
植物科学研究所分館分科会 |
| 2023.5.8
~5.18 | 令和5年度第1回貴重資料委員会
(メール会議) | 2023.7.27 | 令和5年度第1回附属図書館電子ジャーナル等
経費検討委員会・電子ジャーナル等選定ワーキ
ンググループ合同会議
(オンライン会議) |
| 2023.6.9 | 令和5年度第1回附属図書館運営委員会
(オンライン会議) | 2023.8.8 | 令和5年度第1回附属図書館運営委員会鹿田
分館分科会 |
| 2023.6.12
~6.16 | 令和5年度第1回岡山大学出版会編集委員会
(メール会議) | 2023.9.5
~9.11 | 令和5年度第3回岡山大学出版会編集委員会
(メール会議) |
| 2023.6.30 | 令和5年度第1回岡山大学出版会運営委員会
(オンライン会議) | | |
| 2023.7.18 | 令和5年度第2回岡山大学出版会編集委員会 | | |

研修

- ・令和5年度事務系新任職員研修
参加者 高橋 辰弥 (4.13~4.14 学内)
- ・令和5年度図書系職員館内初任者等研修
参加者 高橋 辰弥 (6.28 学内)
- ・令和5年度岡山県大学図書館協議会研修会
参加者 水内 勇太, 植山 廣紀
石丸 綾華 (9.12 学外)
- ・令和5年度目録システム書誌作成研修
参加者 難波 麻紀 (9.14~9.15 学外)
- ・第10回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員
フレッシュ・パーソン・セミナー
参加者 高橋 辰弥 (9.21 学外 オンライン)

編集委員から

今年の5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更になったことに伴い、利用制限の緩和が進んでいます。図書館でもグループ学修について緩和を図っているところですが、一方で利用制限によって新たな気づき生まれたところはサービスの再検討をおこなっているところです。アフターコロナにおける、より快適な図書館の環境を整えるべくスタッフ一同努力してまいります。(A.T.)

岡山大学附属図書館報「楳」 No. 77 2023年10月1日

編集 広報ワーキング

岡山大学附属図書館発行

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1-1

ホームページ URL <https://www.lib.okayama-u.ac.jp>

